

型名コード / 付加仕様コード (付加仕様コードは指定をしない場合は記入不要)

VM-5B-□□□□□□

モニタレンジ				入力信号		低域遮断周波数*2		高域遮断周波数*2		整流方式		レコーダ出力	
1	0~20m/s ² pk	G	0~2g pk	1	CAシリーズ	1	10Hz以下	1	100Hz	0	平均値	0	4~20mADC
2	0~50m/s ² pk	H	0~5g pk	2		2	20Hz	2	200Hz	1	pk-pk	1	1~5VDC
3	0~100m/s ² pk	J	0~10g pk	3		3	50Hz	3	500Hz	2	rms (付加仕様/RMS)	2	出力カード /IS口又は/RE口 オプション付
4	0~200m/s ² pk	K	0~20g pk	4		4	100Hz	4	1kHz				
5	0~20mm/s pk	L	0~1in/s pk	5		5	200Hz	5	2kHz				
6	0~50mm/s pk	M	0~2in/s pk	6		6	500Hz	6	5kHz				
7	0~100mm/s pk	N	0~2g rms*1	7		7	1kHz	7	10kHz				
8	0~20m/s ² rms*1	P	0~5g rms*1	8		8	9.5Hz地震フィルタ*3	8	20kHz				
A	0~50m/s ² rms*1	Q	0~10g rms*1	A			14Hz地震フィルタ*3						
B	0~100m/s ² rms*1	R	0~20g rms*1	B			15Hz地震フィルタ*3						
C	0~200m/s ² rms*1	S	0~1in/s rms*1	C			40Hz(36dB/oct) 配管フィルタ*3						
D	0~20mm/s rms*1	T	0~2in/s rms*1	D			60Hz(36dB/oct) 配管フィルタ*3						
E	0~50mm/s rms*1												
F	0~100mm/s rms*1												

注) *1 rms レンジはRMS 整流回路オプションが必要です。
*2 高域遮断周波数≧低域遮断周波数×10 で選択してください。
モニタレンジが速度振動の場合(例:0~20mm/s pk)においては、配管や地盤を伝わってくる低周波振動等の環境振動を検出して、測定対象物の本来の振動値よりも大きく指示、出力されることがありますので、低域遮断周波数の選定にはご注意ください。
特に低周波の環境振動が大きい場合には地震フィルタや配管フィルタを推奨いたします。

注) *3 地震フィルタおよび配管フィルタはフィルタカード(オプション)が必要です。
地震フィルタは外部接続信号により ON/OFF(IN/OUT)できます。
(納入時 OFF(OUT)) 尚、地震フィルタ OFF(OUT)時の低域遮断周波数は2Hzです。
配管フィルタは常時 ON(IN)です。OFF(OUT)にはできません。

- □□□□ - □□□□ - □□□□ - □□□□

復帰方式 (DANGER)	復帰方式 (ALERT)	復帰方式 (OK)	励磁方式 (DANGER)	励磁方式 (ALERT)	励磁方式 (OK)	警報遅延時間 (DANGER)	警報遅延時間 (ALERT)	警報出力方式		ファーストアウト*4
0 自動復帰	0 自動復帰	0 自己保持	0 常時非励磁	0 常時非励磁	0 常時非励磁	0 3秒	0 3秒	1	CH1: 2点 (DANGER1,ALERT1) CH2: 2点 (DANGER2,ALERT2)	0 OFF
1 自己保持	1 自己保持	1 自己保持	1 常時励磁	1 常時励磁	1 常時励磁	1 1秒	1 1秒	2	CH1: 4点 (DANGER1,DANGER2,ALERT1,ALERT2) CH2: なし	1 ON
						2 6秒	2 6秒			
						3 なし	3 なし			

/RMS/(IS □ 又は RE □)/5G □ /TRP/EX □

実効値整流	アイソレート出力	レコーダ オプション出力	シングル・ユニット 収納ラック組込 電源電圧*5	熱帯仕様	本安感度補正
仕様コードの整流方式の指定が2の場合必ず指定のこと。	0 4~20mADC 1 1~5VDC 2 0~-10VDC 3 0~10VDC 4 0~-5VDC 5 0~5VDC	2 0~-10VDC 3 0~10VDC 4 0~-5VDC 5 0~5VDC	0 85~264VAC 1 24VDC 2 110VDC		1 TIIS(IEC) 7 NEPSI

注) *4 ファーストアウト機能を使用される場合は同一ラック内の全てのモニタユニットをファーストアウト ON に設定してください。
*5 電源電圧仕様が0.2の場合は、CEに対応していません。

指定事項		一般標準仕様	
警報設定値	DANGER1 : _____ ALERT1 : _____ DANGER2 : _____ ALERT2 : _____ 指定のない場合は、納入時 DANGER : モニタレンジの100% ALERT : モニタレンジの90%	警報表示灯	DANGER : (赤色LED) ALERT : (黄色LED)
シーケンス設定値 (シーケンス接続 ON 時に、警報設定値を拡大する為の設定値です)	: _____ 1.0~10.0 倍(0.1 倍ステップ) 指定のない場合は、納入時 1.0 倍 注意: シーケンス回路動作中に指定数値倍された警報設定値がモニタレンジの 110%以下になるようにシーケンス設定値を設定してください。 110%を超えて設定された場合、警報が出力されないことがあります。	異常警報表示灯	OK : (緑色LED)
サブレッション機能	: _____ モニタレンジの 0.0~10.0%(0.1%ステップ) 指定のない場合は、納入時 2.0% 注意: 測定値がサブレッション機能設定値以下の場合には 0%として表示、出力します。	バイパス表示灯	BYPASS : (赤色LED)
一般標準仕様		入力トランスデューサ	CAシリーズ 入力点数 : 2点
警報設定点数	4 点 (DANGER1,ALERT1,DANGER2,ALERT2)	入力インピーダンス	約50kΩ
警報設定範囲	モニタレンジの 0~110%	操作入力 (裏面より)	接続形式: ドライ接続 外部リセット用接続 シーケンス用接続
警報設定精度	±1.0% of F.S. 以内	バーグラフメータ	レコーダ出力変換精度 ±2.5% of F.S.
警報設定繰り返し精度	±0.1% of F.S. 以内	デジタルメータ	レコーダ出力変換精度 ±1.0% of F.S.
警報出力	5点 (DANGER1,ALERT1,DANGER2,ALERT2,OK) 又は6点 (DANGER1,ALERT1,DANGER2,ALERT2,OK1,OK2)	レコーダ出力変換精度	±0.5% of F.S. at 校正周波数 at 25°C ±2.0% of F.S. at 校正周波数 at 0~65°C (校正周波数は遮断周波数レンジにより決まります)
振動測定値	LCD デジタルメータ5桁 (7セグメント、バックライト付) LCD バーグラフメータ (40セグメント、バックライト付) * 測定値、警報設定値の各指示はデジタルメータとバーグラフメータに同時表示	レコーダ出力 (裏面より)	モニタレンジに比例した電圧または電流出力 1~5VDC (出力インピーダンス : 250Ω) 4~20mADC (最大抵抗負荷 : 500Ω) 0~-10VDC*, 0~10VDC*, 0~-5VDC*, 0~5VDC* (出力インピーダンス : 100Ω) (*オプション) 出力点数 : 2点
		モニタ出力 (前面,裏面より)	センサからの入力信号をバッファアンプを通して出力 信号レベル : 0.8~22VDC 出力インピーダンス : 約100Ω (負荷抵抗50kΩ以上)
		温度範囲	使用温度 : 0~65°C 保存温度 : -30~+85°C 相対湿度 : 20~95%RH (非凝結)
		材質および塗装色	フェースプレート : アルミニウム マンセルN-4.0 (近似)
		質量	モニタ : max.0.7kg (シングル・ユニット収納ラック装着時 max.2.5kg)
		その他	